溝川悠介さん（「原発ゼロ・被災者支援奈良のつどい実行委員会」）のご報告

「9・6老朽原発うごかすな！大集会」成功へ

*中嶌哲演さん、木原壯林さんら4名が*

*奈良の10団体に要請と交流*

7月31日、「9・6老朽原発うごかすな！大集会inおおさか」実行委員会を代表して、福井、京都、滋賀から遠路はるばる奈良へ来られ、終日、「原発ゼロ・被災者支援奈良のつどい実行委員会」と共に、大集会成功の要請と交流が行われました。朝から橋梁事故で湖西線不通のため小浜から来られる呼びかけ人代表の中嶌哲演さん（原子力発電に反対する福井県民会議）が定刻に間に合わないというハプニングもありました。タイトなスケジュールのため、定刻10時40分には教育会館において、松本俊一共同代表の開会挨拶のあと、先着された木原壯林さん（若狭の原発を考える会）から奈労連、新日本婦人の会、年金者組合者、平和委員会代表に「老朽原発の危険性」、大集会の意義、取り組みの経過など詳しく語られ協力要請がありました。

11時15分からは、中嶌哲演さんと京都、滋賀の代表も加え（計11名）、「脱原発をめざす奈良県議会議員連盟」（超党派18名で構成）と県庁第一委員会室で交流を行いました。山本進章議連会長（現奈良県議会議長）をはじめ7名の県会議員のご参加を頂き、阪口幹事長の司会で山本会長、乾浩之副議長および中嶌哲演さんの挨拶、太田敦幹事の議連取り組み報告、木原壯林さんの「老朽原発うごかすな！」取り組みの報告に続いて活発な報告が相次ぎ、お忙しい中、予定の時間を大幅に延長する非常に有意義な交流が出来ました。中嶌哲演さん、木原壯林さんらも「奈良の脱原発議連」の活動の豊富さ、レベルの高さに驚嘆されていました。参加者一同「老朽原発うごかすな！」の意思を固め、最後は今井議員の発案で記念撮影を行いました（写真）。

　県庁食堂で昼食、屋上から奈良を一望した後、2台の車に分乗して、以下の団体を順次訪問・要請・交流を行ないました（添付写真参照）。訪問先は、平和フォーラム、部落解放同盟、保険医協会、般若寺、コープ自然派。コロナ禍の厳しい情勢のもと、十分な注意と創意工夫をして集会を成功させるべく、中嶌哲演さん・木原壯林さんらは各団体の実情や交流の経験も交えて熱心に訴えられました。最後に般若寺を訪れ工藤良任住職から「原爆犠牲者追悼・平和の塔のつどい」のお話を聴き、核廃絶を誓いながら午後5時に団体訪問を終了しました。

　JR奈良駅近くで簡単な反省交流の場を持ち、参加者全員が「中嶌哲演さんらに来ていただいて、奈良の各団体と「老朽原発うごかすな！実行委員会」との交流など本当に稔り多く、奈良の取り組みに大きな刺激をいただいた」などと口々に満足感が溢れる感想を述べあいました。

**最後に、奈良県の「なくそう原発」に繋がるすべてのみなさん！！**

**コロナ禍の困難な中ですが、感染回避を第一に様々な工夫を凝らし、**

**「9・6老朽原発うごかすな！大集会inおおさか」の成功にお力をお貸しください。**